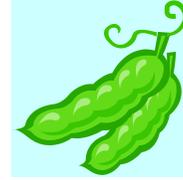


えんどうカー^{りきかず}の市議会レポート

えんどう豆通信



2006 第5号
6月定例議会

まめに働きこまめに聞きます

新庁舎建設予定地 県立中央病院跡地に！

出雲市新庁舎建設調査検討会議は、新庁舎の建設地について中央病院跡地が適当とする最終報告を、西尾理弘出雲市長に提出しました。

子育て支援 児童手当の支給対象年齢を小学6年修了前までに拡大

*** 注意 *** 申請手続きを忘れずに

新たに児童手当を受ける方や5年生、6年生の児童がいる家庭で、これまで手当を受けていなかった方、所得制限の引き上げで新たに支給対象となる人も手続きが必要です。今年9月29日までに申請をすれば、さかのぼって4月分から支給されます。これを過ぎると申請月の翌月分からになりますので、ご注意ください！



公明党 出雲市議会

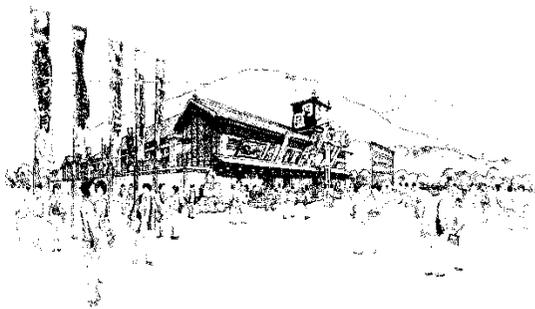


出雲市議会議員 公明党 遠藤カーの市議会レポートです。

今年の6月議会は、なんだかとてもあっさりと終わりました。
とはいえこれが普通で、合併と選挙が重なった昨年が尋常ではなかった、というのが本当のところのようです。

本年度からの中期財政計画も決まり、限られた財源のなかで公債費の増を抑制しながら、「21世紀出雲のグランドデザイン」の着実な実現をめざしてさまざまな事案が動きだしています。

市役所新庁舎建設・大社門前町開発事業・阿國座(仮称)建設・弥生博物館(仮称)建設・四絡小学校改修・市営有原住宅建替え工事・風力発電事業など、大型プロジェクトが目白押しの状況です。



出雲阿國座のイメージパース図

限られた財源を有効に使い、今後ますます進む地方分権に向けた動きの中で、生き残り、活力のある街であり続けるために、これからの1年1年がとても大切になります。

合併特例債の使えるこの10年、私たち議員と市長は大きな責任を負っていると言えます。私心を排し後世への礎となる政治を日々行ってまいります。

7月5日に北側一雄国土交通大臣が隠岐空港のことで来県され、私たちも懇談する機会を得る予定でした、当日の朝、北朝鮮のミサイル問題が起こるまでは、出雲のことを何点かお話したかったのですが、残念です。

しかし、この件についての県の対応はお粗末でした、危機管理能力・危機意識が欠落しており、原子力発電所をお膝元に抱える自治体として、情けない状態です。10キロ圏内に平田地域の地合町が入っており、しっかりとした対応を望みます。

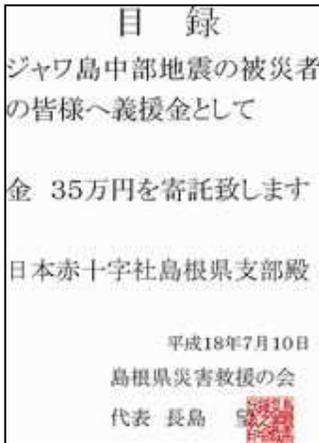
ジャワ島中部地震の募金



ジャワ島中部地震の救援募金の応援に行ってきました。

ラピタ本店前で島根県災害救援の会出雲支部の方々が救援募金を行っており、私たち出雲市議会公明党も募金活動の応援をさせて頂きました。

大勢の市民の方にも応援していただきました、大変ありがとうございました。



本年5月27日にインドネシアジョグジャカルタでおきた地震により約6000人の方々が亡くなられ、また多くの方が負傷されました
インドネシアは貧しく、避難所となるべき、学校や公民館が倒壊し、家屋も損害が大きい状況です、被災された多くの方は、建物の下敷きになったといひます。
一日も早い復興が望まれます。

島根県全域で募金活動が行われ、出雲の皆さまにいただいた募金¥30,246円もあわせて、寄託されました。

実現しました！

平田布崎交差点 旭丘中学入り口付近の右折車トラブルの解消を！



旭丘中学方面から、旭が丘町内と日の出町内の住民が、朝夕のラッシュ時に国道431号線へ右折しようとしても非常に困難な状況でした。
無理に右折しようとして、過去に何度もトラブルが発生していました。

今年2月交通量などの県警の調査を経て、住民からの聞き取り、対処方法を検討。

交差点から白線枠を描き、さらに枠線手前に「枠内停車禁止」の看板を設置することでトラブル減少をはかることができました。



出雲市内の施設建設などの最近の動き

- 『市役所新庁舎建設』 建設予定地は中央病院跡地との意見が出そろい、今後、規模仕様などが協議される。
- 『大社門前町開発事業・阿國座（仮称）建設』 出雲市の観光拠点として重要な位置を占める大社地域の開発事業を推進するため、再生・整備プロジェクト推進本部が設置される。
阿國座は、出雲大社球場を建設予定地とし、設計業務を8月以降、測量調査など開始。
- 『弥生博物館（仮称）建設』 西谷墳墓群などの研究機関として建設が模索されているが、歴史博物館の平成19年度開館もあり、その規模などについて論議がなされている。

6月議会で一般質問

*質問は一部要旨のみ

問「心を病み死に至る人たちへなすべきことは」と題して、毎年3万人以上の自殺者が出ていることに対して出雲市の取り組みを質しました。
深刻化する自殺を防止するために、自殺対策基本法が提出された。島根県における死亡率は1996年以降2位から7位の間を推移するという憂うべき状況が続いている。動機の第一位は健康問題、二位は経済生活問題だ。

社会的要因による死が多く、未然防止には自治体の担う役割が大きい、遺族への支援も必要だ。対策室をつくるなど『取り組む意思を明確にすること』が重要だと思うが、市長の見解を伺う。

市長 極めて深刻な社会現象で、大いに憂うべき問題です。対策としては、保健所での精神科医師による「心の健康相談」、市での「健やかライフ健康相談」などを行っています。また自殺予防対策連絡会議を立ち上げ、情報交換・啓発活動を行っています。

しかしまだ一人抱え込んで悩んでいる人が多いと思われます。昨年行ったうつ病のアンケートでも精神科などに行きたいけど抵抗があると答えた人が68%に達しています。

今後、県や事業所、地域生活支援センター、社会福祉協議会と連携を密にして、相談事業を充実し、自殺防止に務めてまいります。

次に、「陽子線利用によるがん対策の推進」について質問しました。
がん対策推進基本法が今国会に提出された、がん患者の高齢化が進み、手術に耐えられない患者が増えている、またがんの欧米化が進んでいる。
この治療に高い成果をおさめているのが「陽子線治療」だ、施設は現在国内に5ヶ所しかない、出雲市につくってはいかがか。

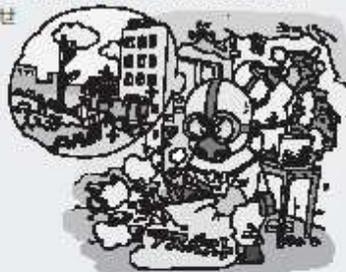


●●● がん対策基本法

法制化に当たり公明党は、①放射線治療の普及、②緩和ケアの充実、③がん登録の必要性——を一貫して主張し、基本法に反映させることができました。

●●● アスベスト対策

通常国会の冒頭、成立したのが、アスベスト(石綿)被害者救済法です。新法にあわせ、約1805億円の対策費を計上した補正予算も成立させることができました。



●●● 行政改革

行政改革推進法など行革関連5法が成立したことにより、簡素で効率的な政府の実現へ確かな道筋をつくることができました。

●●● 児童手当の拡充

公明党が連立政権に参加して以来、今回で4度目となる拡充では、児童手当の支給対象年齢が「小学3年修了まで」から「小学6年修了まで」に引き上げられ、所得制限も緩和されました。



公明党の実績です。

第164通常国会が閉幕しました。

公明党は、アスベスト(石綿)対策、がん対策など国民生活を守る多くの成果を挙げるとともに、行政のムダ、特権排除に向けて改革をリード。行政改革関連法や医療制度改革関連法の成立など急速に進む少子高齢化社会への対応にも大きな役割を果たしました。

●●● 耐震改修の促進

耐震安全性の確保に向けて、昨年の特別国会では「耐震改修促進法」が改正され、また2006年度税制改正では「耐震改修促進税制」が導入されました。



詳しい情報は「公明新聞」または「公明党ホームページ」をご覧ください。 www.komei.or.jp



特定調停

とくていちょうてい

多重債務(たくさんの借金をしている状態)の方で、サラ金などから高利の金を借りているが毎月の返済がきつく困っている。

返済のための借入れを繰り返している。

自己破産はしたくない。

毎月ある程度決まった金額の返済はできる。

誰に相談してよいか分からない。

借金していることを知られたくない、、 などなど。

きっかけはどうあれ、29.2%などの高利でお金を借りると、なかなか完済できません。返しても返しても減らないのです。

借りないことが一番良いのですが、借りてしまったものはしょうがありません。

返せないことで苦しんでいらっしゃる方が大勢います、しかし、これだけ高金利では返せないのが当たり前なのです。

借金解決の手法として「自己破産」「民事再生」「任意整理」「特定調停」などがありますが、条件があえば、「特定調停」が一番手軽で費用も安く、借金問題を解決できます。

---市民相談 いつでもお受けします---

弁護士による無料法律相談毎月1回あります



公明党 出雲市議会

いのちと暮らしを守る人間主義の政治をめざします

生活者の視点に立った文化・福祉をめざします

人間と自然が調和する「環境出雲」をめざします

出雲から世界へ発信、国際性豊かな町づくりをめざします

草の根民主主義の開花と地方主権の確立をめざします

民衆の側に立ったオピニオン・リーダーをめざします

発行者 公明党 出雲市議会議員 りきかず 遠藤力一